特定非営利活動法人HUG for ALL 2025年度事業計画書

事業年度：2025年4月1日〜2026年3月31日

項目	内容
法人名	特定非営利活動法人HUG for ALL
代表者	代表理事　村上 綾野
所在地	東京都新宿区新宿5-11-30 新宿第五葉山ビル3F
ミッション	自分への信頼を育み、社会への信頼を育む

1. 基本方針

2025年度は「新しいビジョン・ミッション・バリュー（VMV）での活動に向けた準備期間」と位置づけます。

こども向けのクエスト事業は、2026年4月の大幅改訂に向けて、こどもたちに「育みたい力」から見直します。そのため2025年度の活動は微修正にとどめ、運用の充実を重視します。

あわせて、クエスト事業の改訂に伴って変化するクエストフレンド（ボランティア）のかかわり方を整理し、これらを実現するためのスタッフ組織づくりと資金調達の見直しに取り組みます。

2. 2026年3月にめざす姿

2026年3月、新年度をスタッフ・クエストフレンド・こどもたちとともにワクワクして迎えられる状態をめざします。

柱	2026年3月の状態
① 新しいスタッフ組織	一人ひとりが「サブソース」として担いたい領域を引き受け、みんなでHUG for ALLをつくり、前に進めていくことにワクワクしている。一部のスタッフには報酬を支払う体制ができている。
② 新しいクエスト	HUG for ALLのこども向け事業がどう変わるのかを、こどもたち・施設職員の方々・クエストフレンド・サポーターに伝えられている。

柱	2026年3月の状態
③ 新しいフレンド組織	クエストの変更やスタッフ組織の変化をふまえて、「かかわる」と自ら決めた主体的なクエストフレンドの組織ができている。

3. クエスト事業（在所編）

2025年度は、2026年4月の改訂をふまえて活動を「整える」年とします。

八王子市の児童養護施設

- 対面での活動を増やし、プログラムは現在の課題を受けて微修正します。
- 小学生：あそびクエストを年3回、遠足を年1回実施します。
- 中高生：社会科見学を年1回実施します。

清瀬市の児童養護施設

- 小学生：まなびクエスト・あそびクエストの現活動を継続し、プログラムは微修正にとどめます。グループホームへのお迎えについても施設と相談しながら検討します。
- 中学生：「信頼を育むこと」を軸にトライアルを行います。施設に「つぼみカフェ」を提案し、実施をめざします。

共通の取り組み

- 各施設・各クエストの対面の作戦会議を年間予定にあらかじめ組み込み、参加率を高めます。
- 2026年4月の大幅改訂に向けて、以下を見直します。
  - こどもたちに「育みたい力」
  - プログラム設計
  - 大人のかかわり方（必要な知識・スキルの明確化）

4. クエスト事業（退所編）

2025年度は、今後退所するこどもが増えることに向けて、活動のペースを再確認する年とします。

- 担当によるチーム会をベースに、ゆるやかにかかわれる場を加えます。
  - 全体イベントを年3回実施します。
  - 「HUGスナック」を毎月開催し、年間予定に組み込みます。
- 担当以外のクエストフレンドもチーム会をサポートできる体制をつくります。
- 次年度以降のこどもの増加に向けて、担当スタッフ制度をトライアルします。

5. クエストフレンドのかかわりの見直し

クエスト事業の改訂に伴い、クエストフレンドのかかわり方も変化します。年度を通じて、新しいかかわり方への移行を進めます。

1. 年度前半：HUG for ALLの新たなこども向け事業のあり方と、そこで必要なクエストフレンドのかかわり方・学ぶこと・学び方を決めます。
2. 8〜9月：「どう変わるのか」を現在のクエストフレンドに発信します。
3. 10〜11月：「どのようにこどもとかかわりたいか」をクエストフレンドに考えてもらう機会をつくります。
4. 12月：クエストフレンド一人ひとりに継続の意思を確認します。継続しない選択肢も含めて、自ら決められるようにします。
5. 2026年1月：新しいフレンド体制での業務を開始します。
6. 2026年2〜3月：チームビルディングを行い、新年度に備えます。

6. 組織基盤の整備・資金調達

新しい事業と組織を支えるため、スタッフ組織づくりと資金調達の見直しを進めます。

スタッフ組織づくり

1. 4〜7月：新しいスタッフ組織の体制や制度を決め、明文化します。
2. 8〜12月：現スタッフ・サブソース候補と、どんな役割を担いたいかを対話します。そのうえで足りない役割を洗い出し、そこにエネルギーを持つ人を探します。
3. 2026年1〜3月：新組織の土台づくり（関係性づくり）を行います。

資金調達の見直し

スタッフへの報酬制度の設計や事業の継続には、財源の確保が欠かせません。報酬制度のイメージを固めて収支の見通しを立てるとともに、資金調達の方法を見直し、あわせて新たな仲間集めにも取り組みます。2025年度のクエスト運用で特に費用がかかる主な項目は次のとおりです。

- 八王子市の施設：遠足・社会科見学・年度末BBQ、あそびクエストの資材費
- 清瀬市の施設：運動関連の活動の場所代、あそびクエスト・はたちクエストの資材費
- 各施設・各クエストの作戦会議の場所代
- 退所編：毎月の活動、イベント、HUGスナック

発信ツールの見直し

新しい事業・組織にあわせて、カルチャーデックの作成、ホームページ・パンフレットの見直しを検討します。

7. 年間スケジュール

時期	スタッフ組織	クエスト・クエストフレンド
2025年4〜7月	新しいスタッフ組織の体制・制度を決め、明文化する	新たなこども向け事業のあり方と、クエストフレンドのかかわり方を決め、明文化する
8〜9月	現スタッフ・サブソース候補との対話を開始	「どう変わるのか」をクエストフレンドに発信
10〜11月	足りない役割を洗い出し、担い手を探す	「どうこどもとかかわりたいか」をクエストフレンドに考えてもらう
12月	同上	継続意思の確認
2026年1月	新組織の土台づくり（関係性づくり）	新しいフレンド体制での業務開始
2〜3月	新組織の土台づくり（関係性づくり）	チームビルディング
2026年4月	新体制スタート	クエスト事業の大幅改訂